

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成27年12月3日 (2015.12.3)

【公開番号】特開2013-88812(P2013-88812A)

【公開日】平成25年5月13日 (2013.5.13)

【年通号数】公開・登録公報2013-023

【出願番号】特願2012-225705(P2012-225705)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/22 (2006.01)

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

B 4 1 C 1/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/22 1 0 1 B

G 0 3 G 15/00 1 1 5

B 4 1 C 1/00

【手続補正書】

【提出日】平成27年10月13日 (2015.10.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

各々電氣的に隔離されかつ個々にアドレス指定可能な複数の正孔注入ピクセルの配列、及び前記配列の上に配置された電荷移動層を含み且つナノサイズで使用可能な画像化部材と、

表面が粗いインクドナーロール、インク供給部、及びインクを計量するドクターブレードを含む現像サブシステムと、

前記現像サブシステムの下流に位置しかつ前記画像化部材の上の現像された画像を部分的に硬化させる紫外線硬化源と、

を含むフレキシグラフィック印刷システムであって、

前記画像化部材と前記インクドナーロールとの間のギャップは、 $1\ \mu\text{m} \sim 50\ \mu\text{m}$ であり、

前記インクドナーロールの表面の粗さは、前記ギャップより小さい、

フレキシ印刷システム。

【請求項 2】

前記画像化部材は、基材と前記配列との間に位置する複数の薄膜トランジスタの配列をさらに備え、

前記複数の薄膜トランジスタの各々は、前記複数の正孔注入ピクセルの 1 個に接続されている、

請求項 1 に記載のフレキシ印刷システム。

【請求項 3】

前記複数の正孔注入ピクセルの各々は、ナノカーボン材料を含む、請求項 1 に記載のフレキシ印刷システム。

【請求項 4】

前記ナノカーボン材料が、単層カーボンナノチューブ、二層カーボンナノチューブ、多層カーボンナノチューブ、グラフェン、またはカーボンナノチューブとグラフェンとの混

合物を含む、請求項 3 に記載のフレキシ印刷システム。

【請求項 5】

前記複数の正孔注入ピクセルの各々は、有機共役ポリマーである、請求項 1 に記載のフレキシ印刷システム。